

令和2年6月20日

専門学校 公務員ゼミナール佐世保校
校長 岩永 敦 殿

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会報告

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

1. 学校関係者評価委員

- ①長崎短期大学 入試募集就職課 田渕信行
- ②西海学園高等部 就職指導部 横田祐介
- ③イノベーションジャパン(株) 代表取締役 城戸俊介
- ④合同会社EL's 代表社員 山本純一

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和2年6月 (持ち回り)

3. 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

(1) 教育理念・目標

【評価委員の意見】

教育理念や目標が明確化され、それに即した教育を展開していることについては評価できる。また、それらの外部への周知の度合いについて改善の余地があると課題を認識し、積極的な情報開示を行う計画があること、さらには時代の変化に対応して教育目標や育成人材像の再検討がなされていることについても、教育機関としての役割を十分に自己理解した取り組みと評価できる。

(2) 学校運営

【評価委員の意見】

各項目の自己評価において、「ほぼ適切」が大半である部分については自己反省を含めた評価と理解できる。但し、教育理念・目標でも低評価であった外部への情報公開について「不適切」とあるため、今後はより開かれた学校運営を期待するものである。しかしながら、事業計画等については責任者会議を経て理事会での決議を得るなど、正式な審議・議決経路が制定されており、またそれらを全教職員で共有する体制が整備されていることは評価されるべきと捉える。

(3) 教育活動

【評価委員の意見】

教育理念・目標に即した教育活動を展開しているものと評価できる。殊に令和元年度末より全国的に広がった新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン授業の整備と充実化を推進している点については、時代の変化、社会ニーズへの即応と捉えられる。また、自己評価としては「やや不適切」とある外部関係者からの評価の取入れについても、現状認識とともに改善に向けて積極的に体制の整備を推進していることが明確であるため、今後は高評価が期待できる。

公務員受験学習は、長期的計画的な練習問題をいかに毎日おこなうかが重要ですが、その件についても本校の放課後ゼミや岩永校長自ら本校生徒へ熱意をもって授業をいただいている。生徒たちも生徒目線でその熱意を肌で感じている様子である。

数的推理、判断推理など公務員試験では得点源となる問題の演習をパターン化してわかりやすい授業を提供している点は高校教員の範疇では対応できない分野や解き方の工夫を

教員が学ぶ機会にもなっている。

(4) 学修成果

【評価委員の意見】

卒業生・在校生の調査とそれに対する評価の実施は困難を極める取り組みであるが、それらを不十分と捉え課題として認識している部分については評価ができる。また、退学率の低減化が図られている部分は、当校における在校生への支援が細部まで行き届いていることを示しており、就業後を見据えた資格取得への支援の強化を図る意志も見られることから、学修成果の担保に向けて様々な部分において計画的に取り組もうとしていることが窺い知れる。

(5) 学生支援

【評価委員の意見】

公務員試験合格を最大の目標としている学生に対して、その達成のための教育の提供がなされていることについては明確であるが、本項目においては学生の心身、または生活環境に対する支援が不十分であるという自己評価が目立つ。学生の背景についても様々であるが、経費支弁者である保護者との連携も教育機関としては必要不可欠なものであるため、経済的側面での支援とともに、学生自身に対する支援の強化についても、今後より充実化していくことを期待する。しかしながら、学生アンケート、保護者アンケートの結果を見る限りにおいては、当校の教育活動、及び学生支援の取り組みに関して否定的な結果とはなっておらず、むしろ全体的には満足度が高いものとして、結果が顕れているようにみられた。それらを鑑みると、当自己評価については、「ほぼ適切」程度の評価を行っても差し支えないのではないかと感じられた。

(6) 教育環境

【評価委員の意見】

オンライン授業の充実化に向け、学習プログラムの刷新や授業の録画設備の整備などが積極的になされていることについては評価できる。また、在学生、教職員、さらには地域の安全面を考慮し、防災管理規定を整備したことについても評価ができる。

(7) 学生の受入れ募集

【評価委員の意見】

入学者の最大の提供先である高等学校等との連携が図られ、また学生確保のための情報提供や様々な講座を実施していること、高校訪問や校内ガイダンスへ積極的に参加していることは評価できる。

教育方針として、貴校塾生のみならず、対外的に熱心な高校へのアプローチ、高い合格率のご実績、そして公開模試や無料体験授業など、公務員を目指す10代の学生および保護者に親切丁寧な説明をしているものと拝察する。

(8) 財務

【評価委員の意見】

財務基盤の安定化が中長期的に図られ、予算・収支計画も適切に執行されていることは、会計監査が適正に実施されていることから自己評価の通りと認識できる。また、学生数の減少を想定し新たな学習ツールの開発にも着手するなど、学校運営に全学的に取り組み、財務基盤の安定化を図っていると評価できる。

(9) 法令等の遵守

【評価委員の意見】

法令遵守は教育機関に所属する者として重視すべきものであるが、課題として教職員間での理解度の差が挙げられている。寄付行為や学則の改定、評価項目の見直し、内部規定の整備等、積極的な体制整備に取り組まれている部分は評価できるため、今後はFD/SDの実施による共通理解の促進に取り組まれることを期待する。

(10) 社会貢献・地域貢献

【評価委員の意見】

高等学校等との連携による様々な講座の開講や教員の派遣等、連携事業の推進や地域活動への学生の参加の促進等、地域を意識した取り組みは高く評価できる。一方、公開講座・教育訓練の実施などについては低評価が見られる。教育機関の存在意義の一つとして、学生が望む進路に進むことができるよう教育的支援を行うことが最たるものとして挙げられるが、同時に地域に認知され、地域から愛される教育機関として、自身を昇華していく必要がある。そのためにも、地域に開かれた学校としての役割を今後は多角的に展開していかれることを期待する。

地域社会とのつながりの部分ですが、自己評価の中でも低く採点されているようです。

たしかに短期間での公務員試験合格を掲げられたカリキュラムの中で地域との接点を持つことは非常に厳しいという内情も卒業生の立場として承知しておりますが、入職してからはるかに長い年月「はたらく」ことを考えますと、在校生が地域とのつながりの部分は持つべきだと思います。少しの期間であってもメディア等の媒体を活用し最大限にPRしていく。地域住民を巻き込んだ組織を作り上げていただきたいと思います。

○事業報告書について

I 法人の概要

法人の目的、沿革以下、各校の規模や役員組織の構成など分かり易く整備されている。ただ、事業報告書として理事会・評議員会でも諮られるものであるため、各校の3ポリシーについても別紙とせず同報告書内へ明記しておくべきかと考える。

II 事業の概要

1. 学校運営

令和元年度末からの新型コロナウイルスによる社会不安が高まる以前、国内の雇用情勢は売り手市場が続き、公務員志望者の減少は顕著であった。そのような中においても、502名の学生を確保したことは学生募集活動への取り組みが結実したものと評価する。概況にある通り、社会不安が増すことにより安定的な職業を求めてゆく傾向は不変であり、公務員志望者の増加とそれに伴う当校への入学者の増加も見込まれる。しかしながらそのような想定に安堵することなく、公務に携わる人材を育成してゆくために時代に即した学習環境を提供していくとあることから、状況分析と自己評価を重ね提供する教育内容の改善を不断に続けていくことが窺い知れる。

就職の状況についても、1次試験の総合格者数が1087名、2次試験以降の最終合格者数については480名に上り、内中上級合格者数が103名とあることから、高卒者のみならず大卒者の公務員志望者がいかに多いか、そしてまた当校の教育が如何に成果を挙げているかが分かるものであり、職員を採用する側の需要とともに、公務員を目指す志望者、そしてそれらをマッチングに繋げるための存在として、今後も当校へは高い期待が寄せられるものと評価される。

2. 収益事業

「I 法人の概要」の「5. 組織図」と比較し、専門学校、サテライト施設、スクール校の区分、または定義が分かり難いため、組織図の整理、または本文の表現を見直す必要があるかと考える。

現役大学生を対象としたコースの受講者が増加していることから、初級のみならず中上級職への志望者も増加していることが分かる。受講者の増加に伴う教室の増床等迅速な対

応は評価できる。

3. 学校及び学科の新設

若者の県外流出は、都市圏以外の地方においては喫緊の課題であり、地方の教育機関には地元就職促進への取り組みも求められている。そのような背景もある中、公務員ゼミナール下関校を専修学校として認可を得られたことは、山口県からの期待も大きいものと推察される。

また、通信コースの設置は、長崎県内の離島、過疎地域出身学生の学習意欲に大きな影響を与え、或いは就業の幅も大きく拡大するものと考えられる。例えばそれらの地域で、経済的に余裕がない家庭の場合、遠方の都市部で下宿しながらの就学は困難であり、必然的に高校卒業後とりあえず就職し、数年と経たず退職するミスマッチが発生し、それらが続くという負の連鎖が顕著であるが、新たな就学環境の整備と提供によってその解消の一助になり得ると捉えられる。更には、同コースを利用した際の学習のためのツールやシステムの整備も細部まで考慮されたものであり、次代を担う若者達の就業に向けた機会を提供していることは大きく評価されてしかるべきものと捉えられる。

◇総括

自己評価報告書においては、各項目において細部にわたり綿密な自己分析と自己評価がなされていると捉えられる。現状の課題を認識し、その改善に向けた計画や既に行動に移されているものも随所に見られ、全学的に学校運営に対し高い意識を以て臨んでおられることが感じられた。それぞれの項目ごとの評価についても、やや謙虚さを感じる部分はあったものの、概ね適正な評価を自身に対して行われているものと評価する。

現在のコロナ禍における情勢の中、安定した基盤を求めていく結果、公務員を目指される若者が増えていくことは必須であり、それに伴ったサービス展開を実行されていること、会社を運営・経営していく立場として納得し得る内容であった。